



## 平成23年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月13日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー  
コード番号 6668 URL <http://www.adtec-rf.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 修逸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 中山 浩之

TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日

平成23年4月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年8月期第2四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第2四半期	2,434	28.1	284	—	254	—	145	—
22年8月期第2四半期	1,901	△12.9	△44	—	△83	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第2四半期	16,972.83	—
22年8月期第2四半期	△6,960.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第2四半期	4,865	2,049	40.8	231,059.48		
22年8月期	4,724	1,914	39.1	215,374.25		

(参考) 自己資本 23年8月期第2四半期 1,983百万円 22年8月期 1,848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年8月期	—	1,000.00	—	—	—
23年8月期 (予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,049	6.9	505	159.0	403	299.0	249	72.9	29,085.04

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年8月期2Q 8,586株 22年8月期 8,586株

② 期末自己株式数 23年8月期2Q 2株 22年8月期 2株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年8月期2Q 8,584株 22年8月期2Q 8,584株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6か月）におけるわが国経済は、経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、企業収益や設備投資等が改善傾向にあり、個人消費も持ち直しつつあります。しかしながら、為替相場の円高基調や海外景気の下振れ懸念、雇用情勢の悪化の影響等を背景に、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社、Adtec Technology, Inc. 及びAdtec Europe Limited（以下、「当社等」という。））におきましては、PC需要の減速による生産調整がございましたが、高機能携帯電話などの需要増加に伴いメモリーの需要が高まっており、液晶パネル市場では、欧米市場の低迷で、液晶パネルメーカーの一部で生産調整があったものの、タブレットPCや中小型薄型テレビの需要が堅調に推移していることで、半導体市場及び液晶パネル市場ともに韓国・台湾などのアジア圏を中心に設備投資が増加いたしました。

このような事業環境の中、当社等は、市場が活発化しているアジア地域を中心に、小型化かつ低価格化を実現したTXシリーズの高周波電源のPRを実施することに重点を置き、既存顧客及び新規顧客の新規案件受注獲得のための積極的な営業活動を展開したことにより売上高は堅調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（株式会社IDX（以下、「IDX」という。））におきましては、既存製品を用いて、研究機関及び医療機関を中心にPRを実施し、また強みである技術力を活かせる民間の新規顧客開拓のための営業活動を展開したものの売上高は低調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期（6か月）における業績は、売上高は2,434,763千円（前年同期比28.1%増加）、営業利益は284,608千円（前年同期は営業損失44,358千円）、経常利益254,067千円（前年同期は経常損失83,257千円）、四半期純利益は145,694千円（前年同期は四半期純損失59,747千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	1,901,095	2,434,763
売上総利益	497,645	868,119
営業利益又は営業損失(△)	△44,358	284,608
経常利益又は経常損失(△)	△83,257	254,067
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,747	145,694

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、高機能携帯電話やタブレットPC、中小型薄型テレビなどのデジタル家電関連の需要好調を背景に、アジア地域を中心とした半導体市場及び液晶パネル市場での各関連メーカーが積極的な設備投資に踏み切っていることから、売上高は1,912,932千円、営業利益は273,956千円となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、官公庁の予算削減、生産の遅れに伴う出荷時期のずれ込みにより、売上高は521,830千円、営業利益は10,923千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	
	売上高	営業利益
	金額 (千円)	金額 (千円)
半導体・液晶関連事業（当社等）	1,912,932	273,956
研究機関・大学関連事業（IDX）	521,830	10,923
合計	2,434,763	284,880

注1. 売上高は、各セグメントの外部売上高に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益を表しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末と比較して141,214千円増加し、4,865,721千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、買掛金、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比較して7,052千円増加し、2,816,586千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比較して134,161千円増加し、2,049,134千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による、当社グループでの人的被害及び物的設備等の重大な被害は無く、業績に影響を及ぼす直接的な損害も受けておりません。

今後の景気の見通しにつきましては、上記震災に伴う企業活動の自粛及び個人消費の抑制、海外景気の下振れ懸念などの懸念材料を抱えており、不安定な経済環境が続くものと予想されます。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、高機能携帯電話及びタブレットPCなどの需要好調に伴い、半導体市場及び液晶パネル市場ともに各関連メーカーで積極的な設備投資を実施している状況が見受けられます。このような状況の中、海外生産等に取り組むことにより、更なるコストダウンをした高周波電源及びマッチングユニットを提供していくとともに、市場が活発化しているアジア地域を中心に積極的な営業活動に取り組んでまいります。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、既存製品を用いた新規顧客及び既存顧客に対する新規案件の受注獲得、強みである技術力を活かせる新規市場開拓とともに、国内のみならず海外の新規顧客開拓のための営業活動を展開し、また海外からの材料調達に取り組むことで更なる諸経費削減の実施に努めてまいります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成23年4月11日公表）において、連結業績予想を修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期連結業績予想 (平成23年8月期)	百万円 5,049	百万円 505	百万円 403	百万円 249
(ご参考) 前期実績 (平成22年8月期)	4,725	195	101	144

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1,749千円、税金等調整前四半期純利益は30,058千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は72,330千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	971,349	1,054,003
受取手形及び売掛金	1,166,638	1,226,012
製品	435,509	311,229
仕掛品	763,926	669,209
原材料及び貯蔵品	539,972	467,746
繰延税金資産	24,064	68,539
その他	96,505	92,134
貸倒引当金	△3,176	—
流動資産合計	3,994,790	3,888,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,029,363	976,827
減価償却累計額	△560,974	△541,905
建物及び構築物(純額)	468,388	434,921
車両運搬具	10,211	11,721
減価償却累計額	△9,656	△10,992
車両運搬具(純額)	555	728
工具、器具及び備品	666,165	663,183
減価償却累計額	△457,129	△449,253
工具、器具及び備品(純額)	209,035	213,930
土地	65,926	65,926
建設仮勘定	1,730	—
有形固定資産合計	745,635	715,506
無形固定資産	46,346	51,063
投資その他の資産		
投資有価証券	30,816	31,000
長期貸付金	5,034	—
繰延税金資産	2,369	422
その他	60,639	57,547
貸倒引当金	△19,909	△19,909
投資その他の資産合計	78,949	69,060
固定資産合計	870,931	835,631
資産合計	4,865,721	4,724,507

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	195,940	167,417
短期借入金	930,000	955,000
1年内返済予定の長期借入金	558,120	611,770
未払法人税等	9,488	16,645
その他	105,213	100,367
流動負債合計	1,798,762	1,851,199
固定負債		
長期借入金	932,430	955,977
資産除去債務	69,038	—
その他	16,356	2,357
固定負債合計	1,017,824	958,334
負債合計	2,816,586	2,809,534
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	391,544	245,849
自己株式	△384	△384
株主資本合計	2,134,918	1,989,223
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,151	△10,819
為替換算調整勘定	△140,352	△129,631
評価・換算差額等合計	△151,503	△140,451
少数株主持分	65,720	66,200
純資産合計	2,049,134	1,914,973
負債純資産合計	4,865,721	4,724,507



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
売上高	1,901,095	2,434,763
売上原価	1,403,449	1,566,643
売上総利益	497,645	868,119
販売費及び一般管理費	542,004	583,510
営業利益又は営業損失(△)	△44,358	284,608
営業外収益		
受取利息	983	568
受取配当金	186	140
デリバティブ評価益	388	294
受取手数料	—	4,352
補助金収入	1,013	—
助成金収入	19,357	—
その他	2,817	1,870
営業外収益合計	24,747	7,225
営業外費用		
支払利息	21,219	18,192
たな卸資産廃棄損	1,295	12,331
為替差損	39,597	3,752
その他	1,534	3,490
営業外費用合計	63,646	37,766
経常利益又は経常損失(△)	△83,257	254,067
特別利益		
固定資産売却益	3,311	2,045
受取補償金	37,639	—
特別利益合計	40,950	2,045
特別損失		
固定資産除却損	61	403
臨時損失	19,379	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,309
特別損失合計	19,440	28,712
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,747	227,400
法人税、住民税及び事業税	9,696	25,623
過年度法人税等戻入額	△425	—
法人税等調整額	△3,367	56,584
法人税等合計	5,903	82,207
少数株主損益調整前四半期純利益	—	145,192
少数株主損失(△)	△7,904	△502
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,747	145,694

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,747	227,400
減価償却費	39,385	38,999
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	3,176
受取利息及び受取配当金	△1,169	△708
支払利息	21,219	18,192
為替差損益(△は益)	39,256	4,593
固定資産除却損	61	403
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,311	△2,045
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,309
受取補償金	△37,639	—
売上債権の増減額(△は増加)	△347,651	57,073
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,050	△308,388
仕入債務の増減額(△は減少)	84,803	33,897
その他	62,362	17,589
小計	△274,480	118,493
利息及び配当金の受取額	1,094	662
利息の支払額	△22,513	△17,066
法人税等の支払額	△6,584	△37,900
法人税等の還付額	14,877	241
営業活動によるキャッシュ・フロー	△287,605	64,431
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△3,507	△24,260
有形固定資産の売却による収入	3,790	2,180
無形固定資産の取得による支出	△743	△622
投資有価証券の取得による支出	△5,000	—
貸付けによる支出	—	△5,034
その他	349	499
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,889	△27,237
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	233,400	△25,000
長期借入れによる収入	600,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△507,296	△377,197
リース債務の返済による支出	△505	△505
配当金の支払額	△240	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	325,358	△102,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,132	△17,027
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,509	△82,654
現金及び現金同等物の期首残高	1,370,222	904,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,372,731	821,349

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

	半導体・液晶 関連事業 (千円)	研究機関・ 大学関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,360,253	540,842	1,901,095	—	1,901,095
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	352	8,090	8,442	△8,442	—
計	1,360,605	548,932	1,909,538	△8,442	1,901,095
営業利益又は営業損失(△)	37,370	△16,137	21,232	△65,590	△44,358

注1. 事業の区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

事業区分	主な内容
半導体・液晶関連事業	高周波電源、マッチングユニット
研究機関・大学関連事業	直流電源

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	欧州 (千円)	計(千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,299,821	265,310	335,963	1,901,095	—	1,901,095
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	504,226	3,485	52,045	559,757	△559,757	—
計	1,804,047	268,796	388,008	2,460,853	△559,757	1,901,095
営業利益又は営業損失(△)	32,866	11,394	△18,093	26,167	△70,526	△44,358

注1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 欧州の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

欧州……………イギリス、ドイツ、スイス

(海外売上高)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

	米国	アジア地域	欧州	計
I 海外売上高(千円)	265,310	244,789	335,963	846,063
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,901,095
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.9	12.9	17.7	44.5

注1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は以下のとおりであります。

(1) アジア地域……韓国、台湾、シンガポール

(2) 欧州……イギリス、ドイツ、スイス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業の種類別に基づき、「半導体・液晶関連事業」及び「研究機関・大学関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

セグメントの名称	主要製品
半導体・液晶関連事業	高周波電源、マッチングユニット
研究機関・大学関連事業	直流電源

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)

(単位:千円)

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,912,932	521,830	2,434,763	—	2,434,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,289	4,097	25,386	△25,386	—
計	1,934,222	525,928	2,460,150	△25,386	2,434,763
セグメント利益	273,956	10,923	284,880	△271	284,608

(注) 1. セグメント利益の調整額△271千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 営業費用の配分方法の変更

従来、配賦不能営業費用として全社費用に含めていた提出会社本社の管理部門に係る費用を、第1四半期連結会計期間より「半導体・液晶関連事業」に配分する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。